

議案第 2 号 郡山市環境審議会からの意見に対する回答

委員名	意見	回答
難波謙二 会長	<p>1. 資料 5、P 3 「…レジリエントなまちづくり」で「まち」というときに市内で対象外と感じる地域がないか心配です。1-2(P 8)の冒頭や 1-2-2(P 9)の説明に「レジリエント」という言葉で説明すると、冒頭で提示した表題が生きます。</p> <p>2. 3-2(P 27)「自然環境の保全と活用」の最後の行の「自然環境の保全」の後に「と活用」を加えると、直前のグリーンインフラなどの記述と符合すると思います。」</p> <p>3. P 52 の「雨や風雨などによる…」の記述は、「放射性物質の壊変による物理的減衰、風雨などの自然要因による減衰(ウェザリング効果)、これまで実施した除染等により、」と順番を変え、語句を補うのがよいでしょう。</p> <p>4. P 54 ホールボディカウンタで分かったとされるのは、放射性Csに基づく事故後の被ばくあるいは年間の被ばく線量でしょうか？生涯被ばく線量で内部被曝 1 mSv は低すぎませんか。</p>	<p>1. 意見のとおり 1-2「気候変動適応策の推進」に冒頭において、「レジリエント」を用いた記載を追加いたします。</p> <p>2. 意見のとおり追記いたします。</p> <p>3. 意見のとおり修正いたします。</p> <p>4. ホールボディカウンタについては、測定日時点における体内の放射性セシウム量を測定し、そこから過去 1 年間に体内に取り込んだセシウム量を推定して、その推定量から生涯における(大人では 50 年間、子どもでは 70 歳になるまでの間に受ける)内部被ばくの量を計算しており、これまでの本市における検査の結果、生涯における放射性セシウムの摂取による内部被ばく線量は、全員が 1 mSv 未満でした。 なお、本文中に検査項目が放射性セシウムの摂取による内部被ばく線量である旨記載いたします。</p>
伊藤耕祐 副会長	<p>■資料 4 P4 パーク&ライド、サイクル&ライドの位置づけについて(意見)</p>	<p>1. 意見のとおり、自動車利用からの転換を促すことで、燃料消費低減による二酸化炭素及び大気汚染</p>

<p>1. 渋滞緩和のみならず、燃料消費量の低減によってCO2や大気汚染物質の削減につながる効果も大きいと思われますので、その点にも言及してはどうでしょうか。</p> <p>■資料4 P5 コンパクトで低炭素なまちづくりの推進について（質問）</p> <p>2. 「都市構造、交通、エネルギー、みどりの各分野において、市街化区域の温室効果ガス排出量削減に取り組み、持続可能なまちづくりを推進します」とは、具体的に何をするのでしょうか。</p> <p>■資料4 P11 1-② 再エネ設備の導入の目標について（質問と提案）</p> <p>3. 「2025年までに38施設」とありますが、具体的な導入計画はあるのでしょうか？（実行できるのでしょうか？） なお、目標値は施設の「数」ではなく再エネの導入量」とすべきではないでしょうか。</p> <p>■資料4 P14 ゴミ排出量について（質問と提案）</p> <p>4. 現状値の年度が「20**年度」となっています（「2020年度」では？）</p> <p>5. 2025年度の目標値は、全国で何番目を目指す目標でしょうか？</p> <p>6. 現状が全国最悪レベルであることを明示し、市民の協力を促した方が良いと思います。</p> <p>■資料4 P17 プラごみ対策について（質問と提案）</p> <p>7. 「バイオプラスチック導入の推進」「導入を推進します」とありますが、実施主体は誰でしょうか？市の施策として記載されていますので、市が「導入を推進」と解釈できますが、そういう理解で良いですか？</p>	<p>物質の削減を図る旨記載いたします。</p> <p>2. 環境負荷の少ない低炭素まちづくりを推進する 「郡山市低炭素まちづくり計画」において、都市構造、交通、エネルギー、みどりの各分野の施策に総合的に取り組むこととしており、具体的には、都市構造の再編を行うための立地適正化計画の策定、公共交通ネットワークの再編、公共施設の省エネルギーの推進、公有地を利用した都市緑化などに取り組むこととしています。</p> <p>3. 施設管理部署と連携し、公共施設の省エネ化・再生可能エネルギー設備導入推進を図っております。なお、目標値は「郡山市気候変動対策総合戦略」に合わせた指標としております。</p> <p>4. 表記誤りです。意見のとおり修正いたします。</p> <p>5. 順位はその時の排出量によって決まる相対的な結果であることから、目標値は「一般廃棄物基本処理計画」で定める排出量としております。なお、2025年度の目標値952gは、2019年度（令和元年度）実績にあてはめると中核市62市中36位です。</p> <p>6. 2019年度（令和元年度）実績で中核市62市中60位である旨記載いたします。</p>
--	--

	<p>→ 市の施策としては、「事業者に導入を促す（義務化する？）」といった表現にすべきではないでしょうか。</p> <p>■資料 4 P19 廃棄物処理について（提案）</p> <p>8. 事業者の取り組みとして「不適切な管理の禁止」とありますが、禁止するのは行政の役割と思われま</p> <p>→ 「市の取り組み」に移動するか、別の表現に変えた方が良いでしょう。</p> <p>■資料 4 P36 4-1-1 有害化学物質の発生抑制の施策について（提案）</p> <p>9. 「ICT を活用した・・・」の項目は良いと思います。省エネや再エネの導入、CO2 削減の状況についても同様の発信や市民への情報提供が可能であり、啓発にも有効と考えられますので、それらに対する取り組み内容にも類似の項目を加えてはどうでしょうか。</p> <p>■資料 4 P45 5-1 環境教育に関する施策について（提案）</p> <p>10. 「環境学習講座」や「体験学習」の実施項目の中に、オンライン又はオンデマンド配信を取り入れて、より多くの市民が間接的にでも参加できるようにしてはどうでしょうか。</p> <p>■資料 4 P46 5-2-1 環境情報の収集・発信に関する施策について（提案）</p> <p>11. 「ウェブサイトや SNS など」とありますが、P36 の「ICT を活用した・・・」のような明示的な表現を追加してはどうでしょうか。</p> <p>■資料 4 P47 5-2-2 環境啓発推進に関する施策について（提案）</p> <p>12. ここでも「動画を公式 YouTube に掲載」とありますので、P36 の「ICT を活用した・・・」のような独立かつ明示的な</p>	<p>7. 意見のとおり修正いたします。</p> <p>8. 意見のとおり修正いたします。</p> <p>9. 取り組みの項目 1-1-1「省エネルギーの推進」の中に、ICT を活用した普及啓発について追加いたします。</p> <p>10. 出前講座はオンラインでも対応しております。また、環境啓発動画を公式 YouTube に掲載するなど環境学習機会の創出・充実を図ることとしています。</p> <p>11. 意見のとおり修正いたします。</p> <p>12. 独立した見出しとして修正いたします。</p>
--	---	--

	<p>見出しを追加してはどうでしょうか。</p> <p>■資料 4 P57 「DX」について（提案）</p> <p>13. 「DX」や「デジタルトランスフォーメーション」は市民にはなじみの薄い言葉と思います。単に「デジタル化すること」と理解している人も多いです。</p> <p>→ 資料 6 の最終ページの「デジタル技術の進歩に伴って、新たなサービスの展開や働き方、社会そのものの変革につながる施策の総称」という注釈を追加してはどうでしょうか。</p> <p>■資料 5 「2021 年度まちづくりネットワークモニター第 5 回調査結果」について（提案）</p> <p>14. 市民からの貴重なご意見であり、たいへん参考になります。今後もぜひ続けて頂きたいです。</p> <p>ただし、市の人口と比較して回答数が少なく、年代別の人数にも偏りが見られます。十代と二十代の回答内容に大きな隔たりがあるのは、単なる世代間ギャップだけではなく、人数や母集団の抽出方法も要因の一つではないでしょうか。</p> <p>→ 今後の調査では、対象人数を拡大する、調査期間を長く取って広く一般市民から意見を求めるなどの改良案をご検討下さい。</p>	<p>13. 脚注等に用語説明を記載いたします。</p> <p>14. ネットモニター制度も活用しながら、対象をより幅広く設定したアンケート調査の実施についても検討してまいります。</p>
<p>會田久仁子委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、施策策定にあたり、一般市民に分かりやすい文言を用いることを念頭にいただけないでしょうか。一般市民にはいまだ「わかりやすい」が一番だと思います。市民への働きかけは平易な表現を用いるということであれば、それは結構です。 ・施策の重点項目として、地球温暖化対策の推進、資源の循環的利用を挙げたのは賢明と考えます。第三次計画では達成まで遠いところにある目標をさらに取り組む姿勢は望ましいと考えま 	<ul style="list-style-type: none"> ・素案の作成においては、市民・事業者がわかりやすい記載にするよう心掛けてまいります。また、脚注等に用語説明を記載してまいります。

	す。	
大場真委員	<p>適応に関して、市を挙げて、福島県において先導的、こおりやま広域圏において牽引的取り組みをされていることを、大変に評価いたします。</p> <p>1. 適応策については、各部局にて既に検討され樹立された様々な計画の中にも、対応するものが多々あるかと思えます。是非これを機会に、そういったものについてリスト化されてはいかがかと思えます。</p> <p>2. また適応に関してもしっかりとした PDCA が行える庁内外の体制を整えられ、昨年度制定された「郡山市気候変動対策総合戦略」から一步踏み込んだ KPI を定められてもよいのではないかと考えます。影響各分野における KPI については国の第二次気候変動適応計画にも示されるので、既に KPI を定めている他自治体の指標とあわせ参考にされると良いと考えます。</p>	<p>1. 気候変動適応を踏まえた市の事務事業について把握し指標として追加いたしました。今後も庁内に対する適応に関する啓発・意識醸成を図り、適応を踏まえた取り組みの増加に努めてまいります。</p> <p>2. 本計画では適応を含む気候変動対策の基本的事項・方針を策定し、より詳細・具体的な内容については、個別計画である「郡山市気候変動対策総合戦略」にて定めてまいります。なお、国の地球温暖化対策計画の改定を踏まえ、来年度に総合戦略の改定も検討しております。</p>
栢場龍子委員	<p>■市民への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的に企画（記載）されておりますので、すぐに実行できる内容が多いと思えます。市民の皆さんも、地球温暖化に関してかなり関心が有ると感じておりますが、どの様に行動したら良いのか迷っている（身近に方法が有る事に気づかずに！）様に感じます。是非この取り組みを市民の皆さんへ、もっと、伝えてほしいと思えます。 <p>■森林資源の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「郡山市木材利用推進基本方針」大変関心が有ります。全国的にも国産の材木を利用する方向性がかなり急速に進めていると報道されておりました。この取り組みを若い人が関心を持ち、積 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の実施においては、効果的な P R や普及啓発を行ってまいります。

	極的に参加し将来への道へと進めるように持続して欲しいと思います。	
高橋敦司委員	市民が「我がごと」と考え、自主的に取り組むことができるような仕掛けが大切だと思います。	<ul style="list-style-type: none"> • ご指摘のとおり環境問題を「我がごと」として捉え、環境保全活動に繋がるよう、環境意識の啓発に取り組んでまいります。
滝田良子委員	<ul style="list-style-type: none"> • 環境保全には、循環型社会のしくみや構造等を知ることが大事で、これから市としての取組み、事業展開を基本となる原単位（市民1人事業所1戸）に十分周知し、理解を得る努力を各事業課において対応をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> • 関係各課と情報共有を図り、連携した施策の実施に取り組んでまいります。
出村さやか委員	<p>■P.8～気候変動適応策の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事業者の取組みとして、被害を回避するため、夏季の高温時や台風、大雪などの場合は通勤せずにリモートワークを実施することも必要と思う 2. 大雨時に側溝などがつまらないよう、定期的な清掃活動も施策として必要ではと思う <p>■P.19～廃棄物の適正処理</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 平日の朝、大町・駅前・本町のゴミ捨て場がカラスにあらされているのを度々見ます。黄色い網などがかけられていますが、効果はうすいようです。車通りの多いので、車道にちらばったごみを片付けている方を見るとハラハラします。環境美化の観点からも、もっと効果的なカラス対策はないものでしょうか。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業継続計画（BCP）には、リモートワークなどの被害回避の対策も含まれております。なお、本市では、事業者が策定する事業継続計画(BCP)の策定及び改定を支援するための補助を実施しております。 2. P20「〇ごみのポイ捨て防止・環境美化の推進」において、市民総ぐるみクリーン運動や木戸前清掃など、地域の環境美化活動の推進に取り組むこととしております。 3. 担当課において、カラス被害を低減するごみの出し方やごみ集積場の管理について指導・助言するとともに、駅前商店街等関係団体と連携したカラス対策を継続して実施してまいります。
橋本健委員	原子力災害からの環境回復を基本とし環境にやさしく自然豊かな住んでよかったなと思えるまちを環境都市像として取	<ul style="list-style-type: none"> • 環境保全活動に関する情報の収集・共有に努め、連携を促す取り組みを検討してまいりま

	<p>り組むことは、良いと思います。</p> <p>そんな中で県内全域で活動している企業体にとっては、各地区と連携し取り組む内容において、今、誰が、何に取り組んでいるのか明確にしていくことが、施策の推進に繋がっていくのではないのでしょうか。</p>	<p>す。</p>
古谷博秀委員	<p>1. 「地球温暖化対策の推進」と「資源の循環的利用」の2つを重点項目とすることは良いと考えられる。一方、今回の実績でも難しい課題であることも事実であり、郡山市として何ができ、何をすべきかを洗い出し、市独自で実施する取り組みと、国や県と連携して実施する取り組みを整理、実施することが重要に思います。</p> <p>2. また、コロナの対策のところ記述があった、DX化については、重点項目を含め、各項目で対応できることが多くあり、その中でも市として推進できる項目もあると思います。環境教育用のイベントを含め、検討いただけることを期待します。</p>	<p>1. 施策を実施する上では、国、県、こおりやま広域圏や事業者等との連携や役割分担を踏まえ事業を実施してまいります。</p> <p>2. DX化については、全庁的に「行政のDX化」を推進していることから、取り組み例として挙げた項目以外においても、DX化を進めてまいります。</p>
三浦吉則委員	<p>資料6 2枚目のスライドを見て感じたのですが、土台は「原子力災害からの環境回復」とありますが、将来、第六次計画あたりには「コロナウイルスに対応した生活様式の定着」もプラスする必要が出てくるのかなと思いました。コロナウイルスは社会や環境に対して大きな影響を与えていると感じています。</p>	<p>・第四次計画においても、新しい生活様式に対応した施策の展開を図ってまいります。</p>
湯浅大郎委員	<p>個人的には、「原子力災害への対応」に関して原発事故被害都市としてのメッセージ、ないし決意といった、より踏み込んだ表現があっても良かったと思いますが、全体の構成、施策の体系と展開についてはよくまとまっていると思います。中でも、項目ごとに実行する施策を「市民の取り組み」→「事業者の取り組み」→「市の取り組み」と展開している点は、まず日々の暮らしの中で取り組めると</p>	<p>・近年の自然災害の多発化・激甚化は、同じく関心の高かった「気候変動（地球温暖化）」による影響が大きいとされていることや、「パリ協定」により脱炭素社会の実現を目指すこと、「地球温暖化対策推進法」の改正があったことなどを踏まえ「地球温暖化対策の推進」を重点項目と設</p>

	<p>ころからの取り組みを促すという意味で、とても良いと思いました。</p> <p>新たに、特に力を入れる「重点項目」を設定した点も良いと思いますが、市が7月に実施した「まちづくりネットモニター」調査結果において、関心のある環境テーマの第1位が「自然災害の防止」だったのであれば、「自然環境の保全と活用」も重点項目に加えた方が、より民意を反映した計画書となるのではないのでしょうか。その場合の目標指標は、「開発行為に起因すると考えられた災害の発生ゼロ」などでも良いと思います。第四次環境基本計画の公表を機に、まだ市民に馴染みの薄いEco-DRRという考え方を普及させていくことにも、大きな意義があると考えます。</p>	<p>定しました。また、「自然災害の防止」に対する施策として、同じ取り組みの柱に気候変動適応策の推進を、自然環境の保全と活用という観点から、取り組みの項目3-2-3に「グリーンインフラやEco-DRR」の推進を設定しました。</p>
--	---	--